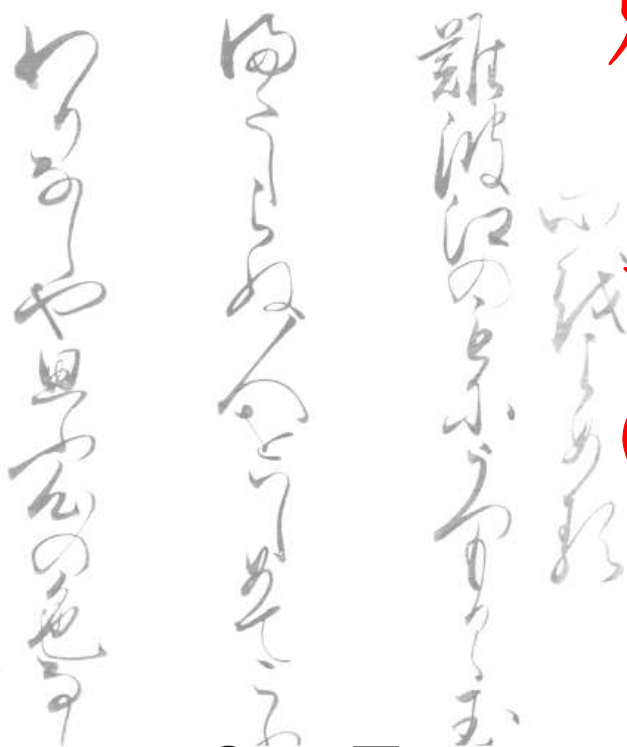


# 松野文庫の贈りもの



## 【ギャラリートーク】

展示期間中、毎週金曜14時～15時、全6回

- 9月 6日(金) 福澤徹三(すみだ郷土文化資料館)
- 9月13日(金) 加藤弓枝(名古屋大学)
- 9月20日(金) 甲斐温子(静岡大学)
- 10月4日(金) 高橋 諒(天理図書館)
- 10月11日(金) 小野寺拓也(神田女学園中高)  
柿沼紅衣(慶應義塾大学大学院生)
- 10月18日(金) 西山美香(早稲田大学非常勤講師)

## 【関連講演会】

松野文庫セミナー

日時:2024年9月27日(金)13時30分～17時30分  
場所:国文学研究資料館大会議室  
※詳しくは、裏面を御覧ください。

2024年9月5日(木)～10月22日(火)

会場:国文学研究資料館

入館無料

開館時間:10時～16時30分

休館:土曜・日曜・祝日

主催:国文学研究資料館

後援:立川市、立川商工会議所、多摩信用金庫、立飛ホールディングス

※本展は、当館共同研究「国文学研究資料館松野陽一文庫の基礎的研究」(研究代表者:館野文昭埼玉大学准教授)の研究成果に基づく展示です。

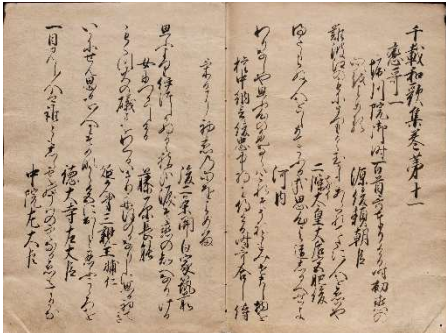
# 松野文庫の贈りもの

## 【松野陽一文庫について】

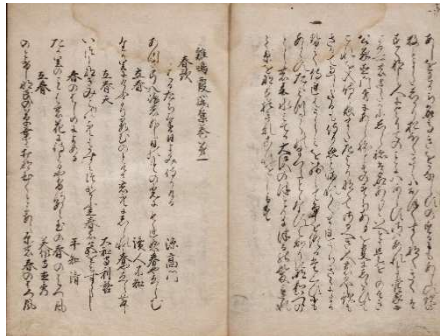
国文学研究資料館松野陽一文庫は、国文研の元館長で、中世近世和歌の研究者であった松野陽一(1935-2018)が、長い年月をかけて丹精込めて蒐集したコレクションです。全 485 点。その大半は江戸末までの日本古典籍であり、中核は歌書、とりわけ『千載和歌集』の古写本と藤原俊成関係書、ならびに石野広通・松平定信ら近世和歌関係書で構成されています。

(参考)海野圭介・小川剛生・落合博志・神作研一編「国文学研究資料館所蔵松野陽一文庫分類目録」(浅田徹ほか編『和歌史の中世から近世へ』所収、花鳥社、2020)

## 【主な展示資料】



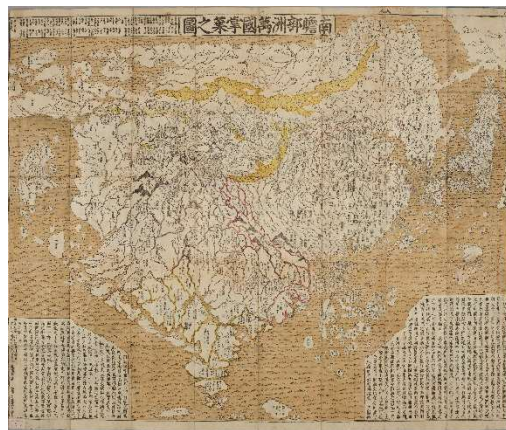
(1-9) 千載和歌集



(2-4) 鶏鳴霞関集



(3-2) 画本和歌浦



(4-21) 南瞻部洲万国掌葉之図



(1-21) 〔歌苑抄〕断簡

## 【関連イベント】

### 松野文庫セミナー

日時:2024年9月27日(金) 13時30分~17時30分

場所:国文学研究資料館2F 大会議室

基調講演 田淵句美子(早稲田大学教授)

【演題】松野陽一の研究と言葉から—孤独と幽寂—

久保田啓一(広島大学教授)

【演題】江戸武家歌壇の媒介者たち

—仁木充長・荷田在満・賀茂真淵を中心に—

講演 館野文昭(埼玉大学准教授)

【演題】『俊成卿九十賀記』研究の可能性

—松野陽一の研究と蔵書を起点として—

川上 一(国文学研究資料館助教)

【演題】写字台旧蔵二十一代集の意義と展望

—松野文庫蔵『千載和歌集』から—

定員:100名、受講料:無料、事前申込制先着順

①Eメール [bunko.seminar@nijl.ac.jp](mailto:bunko.seminar@nijl.ac.jp)

②ウェブフォーム



お申込はコチラ▶

上記いずれかの方法でお申し込みください。後日 E メールにて受講票を送付いたします。

Eメールの場合は、タイトルを「松野文庫セミナー申込」とし、本文に氏名、氏名ヨミ、メールアドレスを記入し送信してください。ご記入いただいた個人情報は、当行事運営のために使用します。

申し込み締め切り 9月17日(火)

※ただし、定員になり次第締切とします。

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
国文学研究資料館

〒190-0014 東京都立川市緑町10-3  
電話:050-5533-2984

当館ウェブページはこちら▶

